

# 組織目標評価報告書（平成27年度）

部局名： **医学部医学科**

部局長名： **大塚 愛二**

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
<b>①教育領域</b>	<b>自己評価</b>
<b>①-1 目標</b>	
<p>国際基準に対応した医学教育認証評価(分野別認証)に向けて、組織的にプロジェクトチームを立ち上げ、万全の受審準備を行う。そのために、必要十分な自己評価点検調査の作成と医学科内教務系各種委員会の点検整理を行う。</p> <p>平成28年度からの全学的60分クォーター制導入に合わせて、教養教育授業科目の医学科実施分の策定を行う。</p> <p>優秀な国際バカロレアディプロマ取得者の入学受入を促すため、国際バカロレア入試の検証と改善を図る。</p> <p>教育効果の向上を目指すため、融合棟に設置される教育施設の整備を図る。</p> <p>学生の卒業進路について、大学病院卒業研修センターと連携して学生指導に当たる。</p>	<p>医学教育認証評価(分野別認証)に向けて、組織的なプロジェクトチームを立ち上げ、医学科内の教育体制と教育内容に関し、審査項目ごとに検証を重ね、受審準備を行った。3月末までに自己点検評価報告書(第1版)が完成し、次年度受審に向けての準備が整う。医学科内の教務系各種委員会の点検整理も併せて行った。</p> <p>平成28年度以降実施予定の全学60分・4学期制導入に合わせて教養教育授業科目の医学科提案と実施分の策定を行った。合計15授業科目15単位を提案提供することとなった。</p> <p>バカロレア入試について、昨年に引き続き検証と改善を図った。昨年同様1人の合格者を出したが、入学手続き前に辞退となった。</p> <p>融合棟内の系統解剖実習室、情報実習室、OSCE室、シミュレーション室を整備し、教育施設の整備を行った。</p> <p>毎月の医療教育統合開発センター-医学教育部門-卒業研修センター合同会議を中心に学生の卒業進路を含む学生指導とその状況について、連絡協議した。</p> <p>第110回医師国家試験合格率は、新卒で94.8%/94.3%(岡山大学/全国)、総数で92.0%/91.5%(岡山大学/全国)で、どちらも0.5%上回った。</p>
<b>①-2 目標とする(重要視する)客観的指標</b>	
<p>医師国家試験合格率について、全国平均を上回ること。</p>	
<b>②研究領域</b>	<b>自己評価</b>
<b>②-1 目標</b>	
<p>医学部共同実験室が一部融合棟に移転するのに伴い、業務の円滑実施を図り、研究支援業務を充実させる。</p> <p>研究コンプライアンスに関する意識向上のため、引き続き研修の実施と受講を促す。</p>	<p>医学部共同実験室の第2分室と第3分室が融合棟の5階に移転するのに伴い、研究支援業務に支障をきたさないように、移転を実施した。</p> <p>研究コンプライアンス意識向上のため、研修会を行った。コンプライアンス研修の受講率は63.5%であった。</p>
<b>②-2 目標とする(重要視する)客観的指標</b>	
<p>コンプライアンス研修の受講率</p>	
<b>③社会貢献(診療を含む)領域</b>	<b>自己評価</b>
<b>③-1 目標</b>	
<p>将来的な地域医療の充実を図るため、第一線の地域医療機関と連携して医学教育を推進する。実習協力機関からのフィードバックを改善に生かす。</p>	<p>地域医療体験実習と選択性臨床実習の学外コースを実施した。地域医療シンポジウムを開催し、地域医療機関の指導者とともに実習参加学生の報告を聞き、その後、意見交換とワークショップの場を設けて、実習協力機関からのフィードバックを受けた。実習については非常に好評で、今後とも継続していく方針である。受けたフィードバックは、地域医療人材育成講座ならびに医療教育統合開発センターで吟味し、さらなる改善を図ることとした。</p>
<b>③-2 目標とする(重要視する)客観的指標</b>	
<b>【総括記述欄】</b>	
<p>管理運営面では、医学部運営会議、医学系医学科執行部会議を中心として運営を進めた。国際貢献としては、ミャンマー医学教育支援事業をJICA協力の下に六大学の議長として実施した。全体として、教育研究、社会貢献において良好に達成してきた。コンプライアンス研修の受講率アップを図りたい。今後も、研究科および病院と連携して教育研究活動を展開していく。</p>	